

あなたがイメージした10年後を、総合計画で実現できるでしょうか

# みんなで一緒に考えよう 橿原市の未来!



こだいちゃん



さららちゃん

詳しい内容は  
こちらから!  
是非みてね!



## 橿原市第4次総合計画 <中学生版>

発行：橿原市  
発行年月：令和3年（2021年）3月  
編集：橿原市企画政策課  
〒634-8586 奈良県橿原市八木町1丁目1番18号  
Tel: 0744-22-4001（代表）

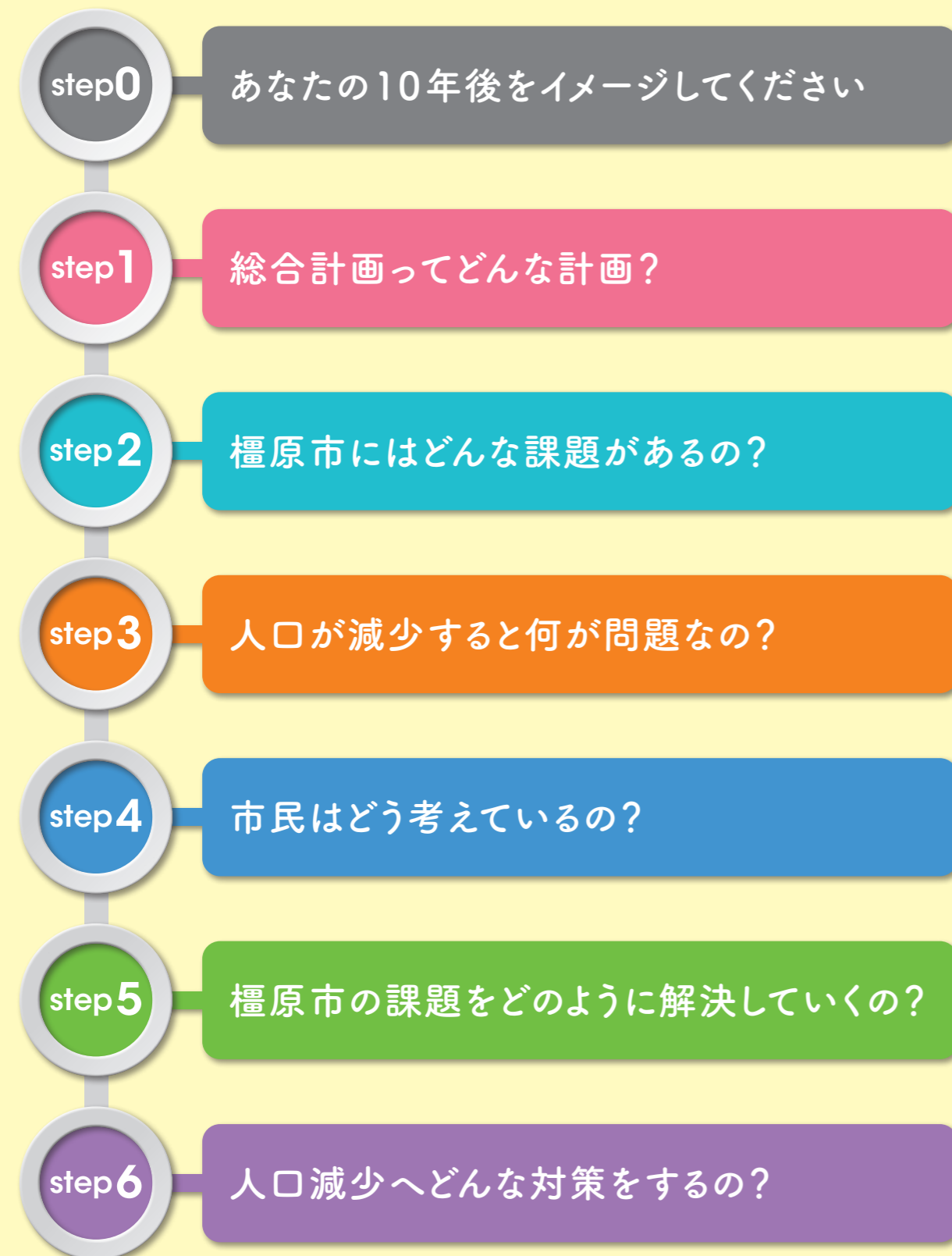
計画の本編は市ホームページでご覧いただけます。  
<https://www.city.kashihara.nara.jp/>  
お問い合わせは橿原市企画政策課まで。Tel: 0744-21-1108（直通）



# 橿原市の未来を一緒に考えてみませんか！

橿原市は、よりよい未来に向けて、これから10年間の橿原市が進めるまちづくりの方向を示す総合計画を策定しました。市役所では、この計画に基づいて、市民の皆さんと一緒にこれからさまざまな取組みを進めていきます。

皆さんは、5年後には20歳ぐらいに、10年後には20代の真ん中になっていますね。ぜひ一緒に、橿原市の未来を考えてみませんか。



## あなたの10年後をイメージしてください

あなたはどこで生活していますか？

---

---

---

---

---

あなたはどんな仕事をしていますか？

---

---

---

---

---

それを実現するためには何が必要だと思いますか？

---

---

---

---

---

自分自身でできることは何だと思いますか？

---

---

---

---

---

家族や友達とできることは何だと思いますか？

---

---

---

---

---

## 総合計画ってどんな計画?

総合計画は、みなさんやみなさんのご家族・お友達が住むこの檀原市を、10年後にどんなまちにしていくのかを決める大切な計画です。

10年後の目指すまちの姿、「将来ビジョン」を定め、その実現のために、檀原市が直面している課題を、一つひとつどのようにして解決していくかを示しています。

将来ビジョンは、「はじまりから未来へ、つながりきらめくまち かしはら」です。この檀原に住むことに喜びや誇りを感じることや、この地を訪れる人にも来てよかった、住んでみたいという魅力を感じるまちにしたいということから、この将来ビジョンを考えました。

### はじまりから未来へ、 つながりきらめくまち かしはら

「はじまりから未来へ」には2つの意味を込めたよ

- 「日本国はじまりの地」という歴史の深さを次世代に継承しながら、来たる「超スマート社会」にも対応していきます。
- 「人生100年時代」を迎えるなかで、生まれてから100年、生涯安心して暮らしていくことができる市になることを目指します。

「つながりきらめくまち」は人中心のまちだよ

- 檀原市と関わるすべての人が、人や物、縁、歴史、自然などにつながることで、活気があふれてきらめくような人中心のまちを目指します。



#### 「日本国はじまりの地」

檀原市のキャッチフレーズです。日本で初めて都城として造営された「藤原京」があること、その「藤原京」の時代に制定された「大宝律令」に史上初めて「日本」と呼ばれたことからきています。

豆知識です



#### 「超スマート社会」

ICT（情報通信技術）を活用し、サイバー空間と現実空間を融合させ、人々に豊かさをもたらす社会のことです。

#### 「人生100年時代」

平均寿命が延びて、100歳まで生きるのが当たり前になる時代のこと。2019年の日本人の平均寿命は女性87.45歳、男性81.41歳です。

## 檀原市にはどんな課題があるの?

### ① 人口減少社会

国の推計によると、日本の人口は2060年には9,300万人まで減少し、檀原市の人口も、12万2千人から8万3千人まで減少すると見込まれています。人口減少と少子高齢化に伴い、支えられる人に対して支える人が少なくなっています。



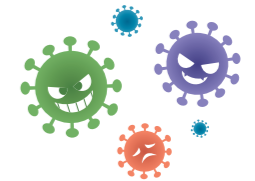
### ② 災害をはじめとするさまざまな危機の高まり

大規模な地震や風水害が頻繁に発生しています。特殊詐欺やサイバー犯罪、高齢ドライバーによる事故など日常生活における危機も増えています。常日頃から危機に備えることが求められます。



### ③ 新型コロナウイルスによる新たな危機

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行が、市民生活や経済活動に大きな影響を与えています。新型のウイルスから、市民の生命・財産と経済活動を守ることが求められます。



### ④ ICTの急速な普及と社会の変化

全世界でスマートフォンなどのICTが急速に普及・発展し、世代や空間を超えたさまざまなつながり交流を生みだしている一方で、それらを利用した犯罪などの新たなリスクも発生しています。セキュリティとのバランスを取った、新しい技術の活用が求められます。



### ⑤ 多様性の尊重と支え合い

ライフスタイルの変化に伴い、地域や家庭における支え合いの基盤や、人と人とのつながりが弱まりつつあります。互いが個性や生き方を尊重し合えるような共生社会の構築が求められます。



### ⑥ 「持続可能」な自治体経営

「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）」という世界の潮流を踏まえ、限りある資源を有効に活用しながら、檀原市の仕組みを持続可能な形に最適化していく必要があります。

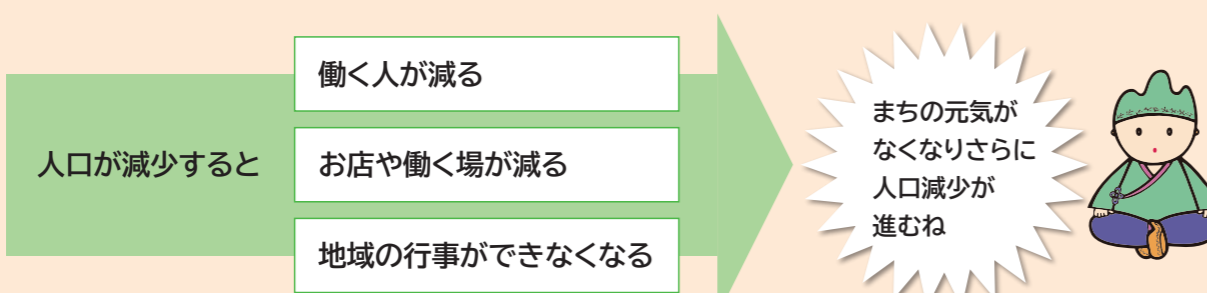
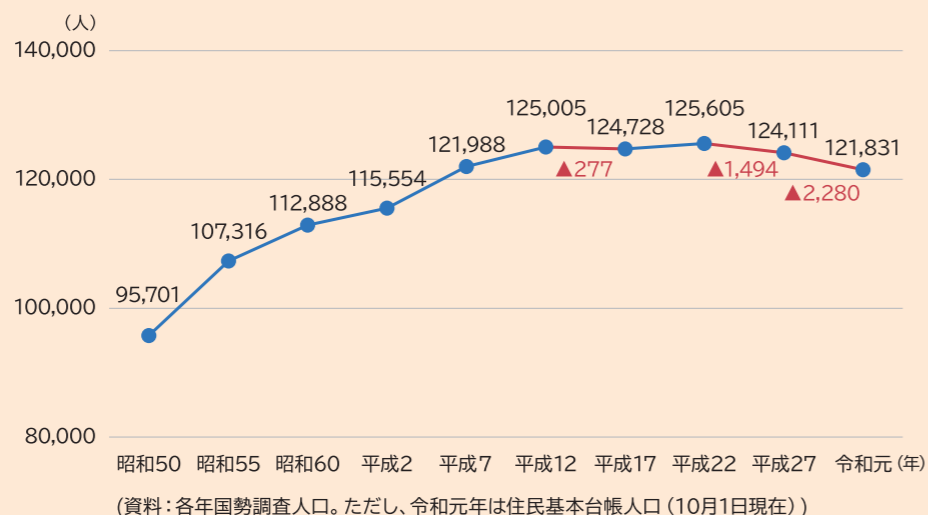


## 人口が減少すると何が問題なの？

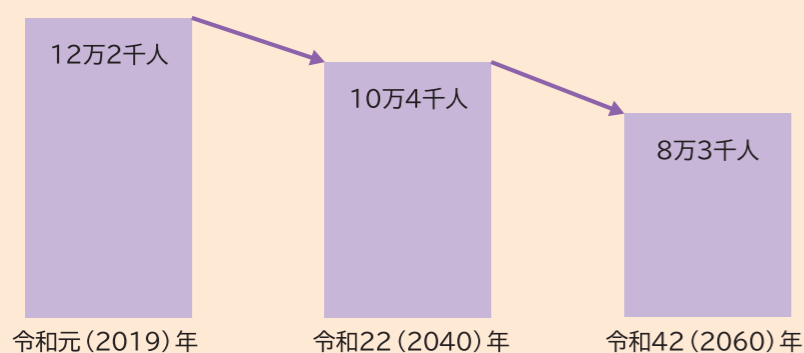
橿原市の人口は約12万2千人です（令和元年10月1日現在）。平成22年（2010年）頃から人口減少が進んでおり、このまま何もしなければ、今後40年間で約3万9千人も減少することが見込まれています。

そこで、この計画のさまざまな取組みを通じて、人口減少に歯止めをかけることが大切になっています。

10年前から人口減少が始まりました



2060年には、人口が現在の2/3ぐらいになると見込まれています。



何もしないと3万9千人も減っちゃう

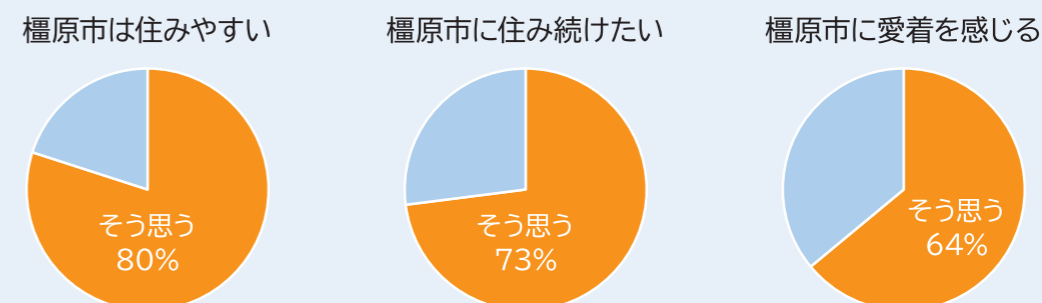


## 市民はどう考えているの？

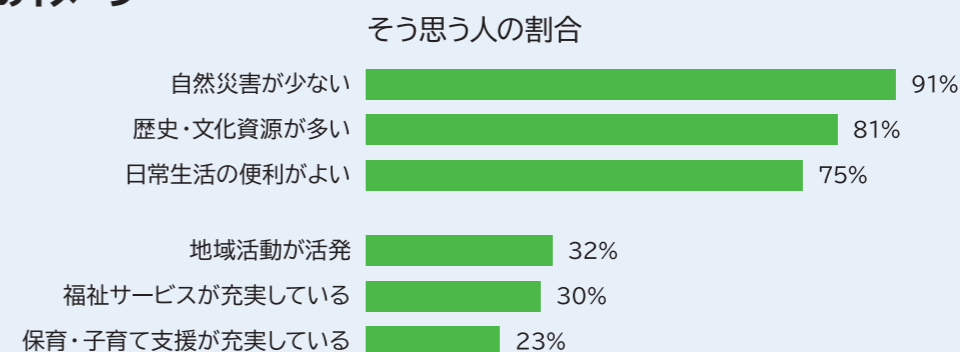
市民の皆さんのご意見としては、橿原市は住みやすいまちとして高い評価を得ていますが、橿原市に住み続けたい人、橿原市に愛着を感じる人は段々と少なくなっています。

### 市民アンケート結果

#### ① 橿原市の住みやすさや愛着



#### ② 橿原市のイメージ



#### ③ 人口減少下で橿原市が取るべき政策

第1位  
48%

結婚・出産・子育て政策に重点を置き、子どもを増やすことによって人口減少を食い止める

子どもを大切にしたいという意見が多いよ



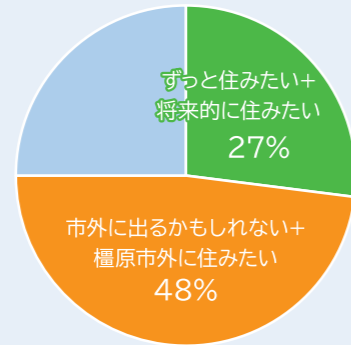
#### ④ 市を特徴づけるキーワード



(市民アンケートは平成30(2018)年10月に実施)

## 中学生アンケート結果

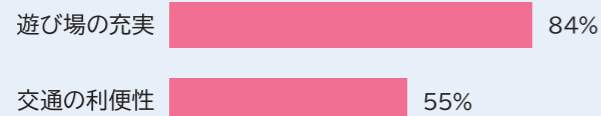
### ① 檀原市への定住意向



市外に出たい人が多いね



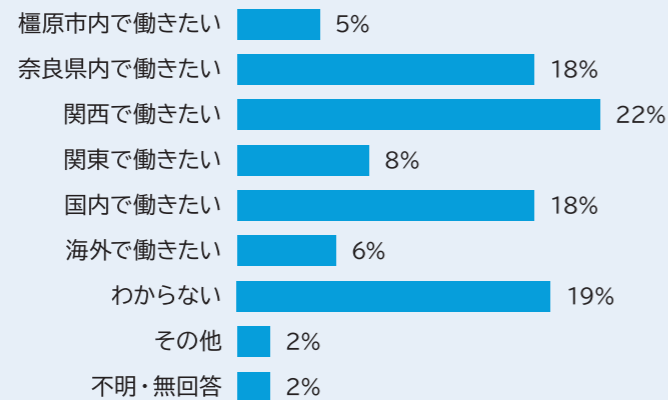
### ② 住み続けるために重要なこと



住んで楽しいまちにしたいね



### ③ 将来働きたい場所



### ④ 「もし檀原市長になったら、私ならこうする」

魅力的な檀原市にするためのアイデアや意見が多数寄せられました。

小学生から高校生までが楽しめる場所を充実させる 139件

今ある自然を守り、また活用することで景色や空気がきれいなまちにする 101件

スポーツなどを手軽に楽しめる施設などを充実させる 53件

小中学校のクーラーの設置、トイレの改修など教育環境を充実させる 81件

治安が良くて明るいまちにする 51件

(中学生アンケートは平成30(2018)年10~11月に実施)

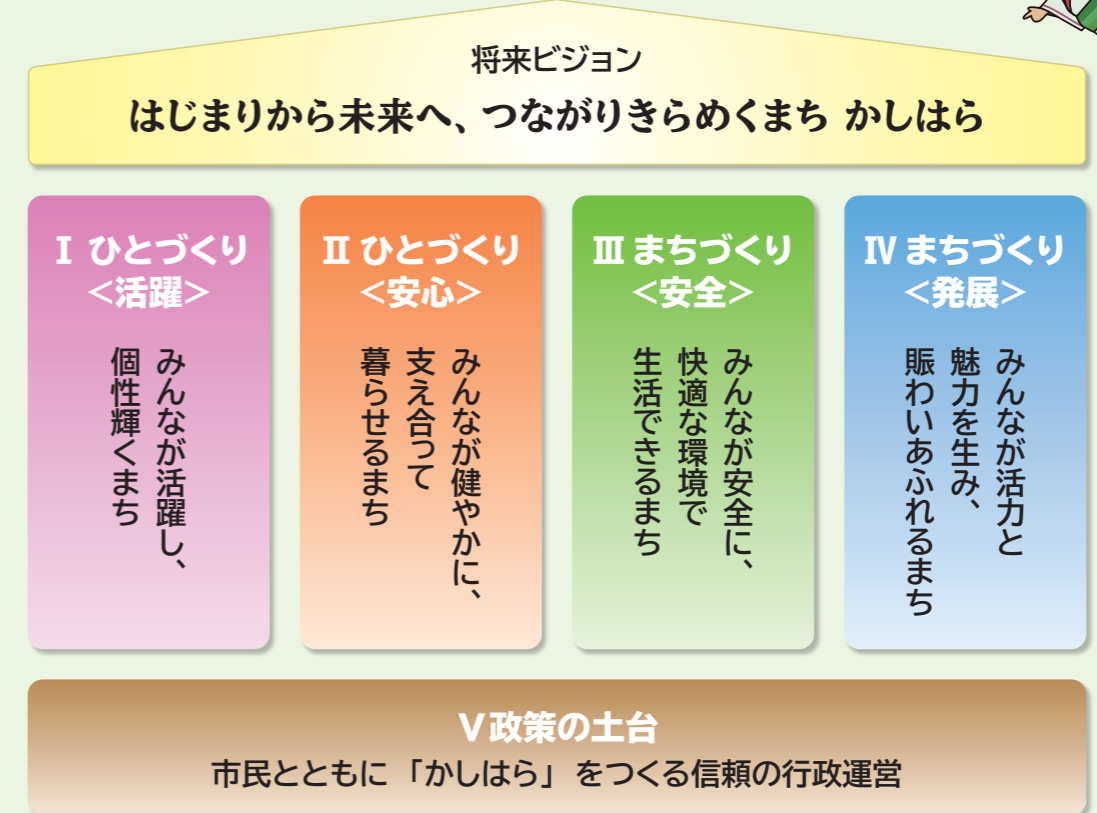
## 檀原市の課題をどのように解決していくの？

10年後の目指すまちの姿である「はじまりから未来へ、つながりきらめくまち かしはら」を実現するために、「4つの政策」と「政策の土台」からなる政策体系を構築し、政策を実行していきます。その政策を具体的に実行していくため、27の施策分野を関連づけています。27の施策分野において、それぞれの課題に対する取組みを実行していきます。

これらの取組みを実行していくことで、将来ビジョンを実現し、人口減少をはじめとする檀原市を取り巻く課題を解決していきます。

### 総合計画の政策体系

「4つの政策」はまちと暮らしのすべての分野をカバーしているよ



「政策の土台」は他の4つ政策を進めていくための市役所の運営や協働の仕組みだよ

### I みんなが活躍し、個性輝くまち

子どもからお年寄りまですべてのライフステージにおいて、一人ひとりが活躍できるまちづくりを進めます。

- ① 保育・幼児教育
- ④ 生涯学習・社会教育
- ② 学校教育
- ⑤ 科学・文化芸術
- ③ 子育て・子育て
- ⑥ スポーツ



### II みんなが健やかに、支え合って暮らせるまち

市民の誰もが安心して暮らしていくことができるように、みんなで助け合い、支え合うことができるまちづくりを進めます。

- ⑦ 健康・医療
- ⑩ 障がい福祉
- ⑧ 地域福祉
- ⑪ 市民協働
- ⑨ 高齢福祉
- ⑫ 人権



### III みんなが安全に、快適な環境で生活できるまち

自然環境と人間社会が調和した、安全で「持続可能」なまちづくりを進めます。

- ⑬ 防災
- ⑰ 住環境・建築
- ⑭ 防犯
- ⑱ 地球環境
- ⑮ 交通
- ⑲ 生活環境
- ⑯ 道路・橋梁・河川
- ⑳ 上下水道



### IV みんなが活力と魅力を生み、賑わいあふれるまち

市民が檀原市への誇りや愛着を持ち、賑わいや活力を生み出すまちづくりを進めます。

- ⑳ 公園・緑地
- ㉒ 観光・交流
- ㉑ まちづくり・景観
- ㉓ 商工業・しごと
- ㉒ 歴史・文化財
- ㉔ 農業



### V 市民とともに「かしはら」をつくる信頼の行政運営

人口減少や少子高齢化により経営資源が減少するなかで、効率的・効果的な行政運営を行います。

- ㉗ 行政運営



## 人口減少へどんな対策をするの？

人口減少に歯止めをかけるためには、現在住んでいる人が安心して住み続けられること、市外に転出してまた帰ってきたくなること、新たに移り住む人を増やすこと、の3つが大切となります。そのため、働く場づくりやまちの魅力発信、住みやすさや子育てのしやすさを高める取組みを重点的に進めていきます。皆さんが大人になったときに、檀原市に住みたいと思えるまちをつくりたいと考えています。

魅力が高まれば人口が増やせるかもね



#### 基本目標 ①

地の利を活かしたしごとの場づくり  
～京奈和自動車道を活かした  
企業誘致と起業支援～



檀原キャンパスタウンにおける  
奈良県立医科大学新キャンパスの整備イメージ

#### 基本目標 ②

新たな人の流れや交流を  
盛んにする魅力づくり  
～自然・歴史・文化を楽しんで魅力発信～



檀原市移住ガイドブック「おいでよ かしはら」

#### 基本目標 ③

安心して子どもを産み育てられる  
環境づくり  
～子育て支援のさらなる強化～



ICTを利用した授業の風景

#### 基本目標 ④

安心して健康に暮らせるまちづくり  
～安心・安全・健康を支える  
コミュニティ形成～



安心パークでの消防訓練の様子

住みやすいまちに、働きやすいまちに、魅力のあるまちにすることで、人口減少に歯止めをかけます

